

かわねほんちよう

議会だより

風薫る、新緑の川根本町

第66号

令和4年5月発行
発行：川根本町議会
編集：議会広報委員会

令和4年度当初予算と質疑・討論	…	2・3
予算特別委員会報告	…	4・5
11月臨時議会・3月議会定例会・委員会	…	6
【特集】令和4年度一般会計予算の修正可決 議事報告	…	7～9

一般質問	…	10～15
議員リニア研修会報告・議会のうごき		
議員定数等特別委員会・6月の予定	…	16

新年度一般会計予算56億5000万円

令和3年度当初予算55億3900万円に対して0.98%の増となりました。

収入（歳入）

給料 (町税等)	12億2005万6千円
実家からの仕送り (地方交付税)	25億2530万4千円
兄弟からの援助 (国・県補助金)	6億1630万8千円
貯金取り崩し (繰入金)	6億6102万3千円
バイト代 (その他の収入)	2億7430万9千円
借金 (町債)	3億5300万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて作表しました。

収入合計 56億5000万円

支出（歳出）

区・町内会費 (議会費)	7031万4千円
生活費 (総務費)	9億8993万8千円
年金・保険料等 (民生費)	12億1060万5千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	6億6991万9千円
農薬代・肥料代 (農林水産業費)	4億0877万5千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	3億2101万3千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	3億2800万1千円
消火器購入 (消防費)	3億1123万5千円
学費仕送り (教育費)	7億7306万7千円
ローン返済 (公債費)	5億5028万8千円
雑費 (諸支出金)	184万5千円
へそくり (予備費)	1500万0千円

支出合計 56億5000万円

(特別会計)

会計名	歳入歳出総額	前年度対比
国民健康保険事業	9億1700万0千円	4400万0千円
後期高齢者医療事業	1億4040万0千円	960万0千円
介護保険事業	13億2080万0千円	440万0千円
簡易水道事業	1億9740万0千円	△7320万0千円
訪問看護事業	1290万0千円	△670万0千円
いやしの里診療所事業	5270万0千円	△1200万0千円

本会議・質疑・討論

(抜粋)

第一回定例会2日目

令和4年3月15日

《議案第7号町職員給与
関連条例一部改正》

〈質疑〉

▼一般職員で平均どのくらいの減額となるか。

△平均年額で約2万5千円の減で昨年分と合わせて約7万5千円ほど減額となる。人事院勧告で、民間との差額を是正するものである。

〈討論〉

▼反対…町民サービスに日夜努力される職員の暮らしを脅かすものである。町長は子育てしやすい町をつくると信念を述べており、まず腕かひより始めよと言われるとおり、まず町長の下での雇用の町職員への待遇保障こそ、公約をはたす第一歩ではないか、人事院勧告を機械的に適用し、待遇切り下げを行うことは、反

対する。

(大竹勝子)

△賛成…人事院勧告を受け、コロナの影響等で収入の下がっている民間との均衡を図ったものであり賛成する。

(中原緑)

《議案第8号町任用職員給与関連条例一部改正》

〈質疑〉

▼一般職員より給与が大幅に低い任用職員の期末手当まで減額することをどう考えているか。

△町職員給与条例に準じて、支給する形になっているため是正することになる。昨年分の減額は適用されない。

《議案第13号町消防団員定員・任免等関連条例一部改正》

〈質疑〉

▼本条例の改正の目的・効果を伺う。技術手当・特別警戒手当の廃止理由、また、分団交付金は運営目的なら交付されるのか。

△団員はボランティア精

神と郷土愛に基づき活動いただいているが、報酬の適切化等全国的に意見の出ている御家族の理解を得るため、改正するもので処遇改善は、団員士気向上、家族の理解を得るためにも不可欠と考える。

町の団員確保につながるよう期待する。また手当て等の廃止は、団員報酬という形での支払いに含まれるとの考え方となる。訓練報酬も国基準まで引き上げる改正をしている。団詰所維持管理費は消防団交付金として、また今後、活動実態に応じた必要な経費があれば予算措置していく。

《議案第17号駿遠学園管理組合規約変更》

〈質疑〉

▼地域療育センター業務削除は、町に影響ないか。

△これは県の受託事業として行っていたもので、個別対応となり影響ない。

《議案第18号令和3年度一般会計補正予算(第8号)》

〈質疑〉

▼臨時特別給付金は、扶養されていて、対象にならない非課税世帯は、どのくらいあるか。

△現時点で対象にならないのは7世帯で、国の制度設計、要領に基づいて実施している。

《議案第21号令和3年度町いやしの里診療所事業特別会計補正予算(1号)》

〈質疑〉

▼昨年10月から火曜日休診となっている。所長の負担が大きいと思われる、今後の見通しを伺う。

△いやしの里診療所は、

県立総合病院との連携により医師を確保しているが、県健康福祉部とも医師派遣の継続協議をしている。診療状況は火曜日1日減だが、患者数は減っていない。

清水先生以下力を合わせてあたってっていると承知している。

第一回定例会最終日

令和4年3月24日

《議案第22号令和4年度町一般会計予算・議案第23号令和4年度国民健康保険事業特別会計・第24号令和4年度町後期高齢者医療事業特別会計予算・第25号令和4年度町介護保険事業特別会計予算・第26号令和4年度町簡易水道事業特別会計予算・第27号令和4年度町訪問看護事業特別会計予算・第28号令和4年度町いやしの里診療所事業特別会計予算》

※質疑・討論は、8頁小・中学校再編記事にまとめて掲載いたします。



消防団分団員によるポンプ点検(毎月1回) 桑野山区にて

56億5,000万円 容を報告します。

14日現地調査実施

- ①本中・本小
- ②中中・中央小
- ③元青部小学校周辺土地整備事業
- ④旧小沢医院木造建築物解体工事



本川根小、現地調査風景

令和4年度川根本町予算特別委員会が3月2日、設置され委員長に澤西議員、副委員長に石山議員が選任され、杉山議長は、オブザーバーとして委員会に出席。3日から16日まで担当課別に審議を行い、以上のように、可決した。

一般会計

農林課

問 小規模農業者への支援策が、少ないようだが。

答 国策は、認定農業者など担い手を対象とした支援策が、中心である。町単独事業で、中核的農業者も含まれている。

問 茶茗館施設内にて飲食の提供を行ってはどうか。

答 本施設の目的であるお茶の流通拡大を行い、可能性を引き続き探る。

会計課

問 基金運用面はどのような取り組みが考えられるか。

答 安全性、流用性、効率性を考慮して、債権の買い替えまた売却運用を行い、利益確保し、情報収集に努め確かかつ効率

的な運用を図っていく。

税務住民課

問 戸籍情報システム改修業務委託を行うことによる効果があるのか。

答 全国共通システムの構築となり、本籍地以外の市区町村での戸籍謄抄本の取得が可能となる。

建設課

問 住宅改修事業は、令和3年度すぐに予算を超過した。4年度は、どう対策をするのか。

答 募集を2回に分けて行う予定である。

問 元青部小学校周辺土地事業の内容を問う。



青部周辺視察

答 排水路の設置、河川の浸水防止の盛土を行う。土地造成のための測量設計業務である。

健康福祉課

問 5歳から11歳のコロナワクチン接種時期は、どのように決めたのか。

答 健康福祉課で、接種計画を策定し学校とも協議して行政にて判断し保護者への接種アンケートも行った。

企画課

問 ふるさと納税のシステム使用料はどこに払っているのか。寄付が、増加した要因は。

答 株式会社さとふるなど5社に支払っている。窓口を増やしたことが、要因と考える。

問 里山親子留学事業について、説明を。

答 令和3年度試行的に事業を行い県内で1件、東京から1件の参加があった。子供の町内学校での授業や学校イベントの体験、町内生活環境の見学などおこなった。

観光工商課

問 プレミアム付き商品券事業と電子クーポン券事業の時期と規模は。

答 プレミアム商品券はゴールデンウィーク中、電子クーポンは、12月頃を予定。昨年同様、還元率100%のプレミアム付きで、12000冊予定。



5月1日発売開始のプレミアム商品券

情報政策課

問 川根高校生の研究発表で、ホームページが、見にくいと指摘あったが、担当課としてどう感じているか。

答 指摘は、担当課にもある。現在のホームページは運用開始して6年になる。リニューアルを検討していく。見やすいホームページ作りは運用でカバーできる。まずはそこから対応していきたい。

令和4年度 一般会計・特別会計予算総額 予算特別委員会の審査内

審査日 令和4年3月3日から16日 の7日間

高齢者福祉課

問 生きがい対応型デイサービスセンター事業の4月から受託事業者はどこを予定しているか。

答 2社からプロポーザル方式の提案がありKANANEホールディングスに決定。

教育総務課

問 県外、町外者には寮があるが町内の子供たちには、通学の補助金などを行うべきでは。

答 町外への通学補助は検討する。

問 川根高校の存続に多額の経費をかけている。今後方針を変える必要があるのでは。

答 川根高校は、町づくりにとって大事な存在と考える。



社会教育課

問 資料館イベント委託料では、どんなイベントを考えているか。

答 展示写真を使いながら千年の学校公開講座と関連するイベントを考えている。会計年度任用職員が、来館者アップ満足度向上のために尽力する。

くらし環境課

問 長島ダムから下流における濁りの現状は、国や県は、承知しているか。

答 大井川の現状に関しては、県知事も事情を十分承知はせず。

特別会計

国民健康保険事業

問 一般被保険者高額療養費が大きく増額となった理由は。

答 被保険者数が少ないため一時的な要因で高額診療者が、大きく増加するケースがある。

いやしの里診療所事業

問 いやしの里診療所を

今後どのように運営していくつもりか。

答 地域の拠点病院として、運営する。医師の重要性は強く認識している。医療難民を作らないよう町が主体となり、町内の診療所の連携を図り、対策をとっていく。

介護保険事業

問 在宅介護サービスが増加、施設介護サービスが減少傾向にある原因は。

答 老人保健施設利用者が減少し、長年自宅で過ごし超高齢となり、今更施設入所はしたくない人が増えたことによる。

訪問看護事業

問 職員は何人か。

答 一般職看護師2名と会計年度任用職員1名を予定している。

簡易水道事業

問 水道事業の公営移行により水道料の上がりに繋がるか。

答 会計方式が変わるといった料金が変わるものではない。事業計画に基

づき水道料金を決定する。
後期高齢者医療事業
質疑無し

委員会採決

15日、7名の発議者の連名により、一般会計予算に対する修正予算（学校再編に伴う工事費分を減額する）が議長に提出された。

16日には、委員会採決を行った。代表して中野浩和委員が、予算修正案の趣旨説明を行い、原案賛成討論を、佐々木、中田、中野暉委員が行い、修正賛成討論を、大竹、野口、中原、中澤委員が行った。

修正案賛成者は中野浩、藤田、石山、大竹、野口、中澤、中原委員。反対者佐々木、中野暉、中田委員で、7対3で修正案が可決された。議長、澤西委員長は、採決には加わらない。

修正可決した部分を除く一般会計予算と6つの特別会計は、全員賛成で可決された。

1/11 1月臨時議会

3/2~24

3月定例会

定例会は 条例改正・制定、令和3年度補正予算の審査、令和4年度予算の審査を行った。最終日には、一般会計予算の修正案が予算特別委員会から報告され、賛成多数で可決し、修正可決した部分を除く一般会計予算と6つの特別会計は、全員賛成で可決した。

1月臨時会で決まったこと

【補正予算】

◎令和3年度一般会計

補正額1億2710万円を増額し予算総額61億3710万円とするもの。

◎増額の主な理由

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金（@10万円×960世帯）

◎介護保険事業

補正額480万円を増額して予算総額13億3104万円とするもの。

3月定例会で決まったこと

【条例の一部改正】

◎川根本町職員の育児休業等に関する条例

◎川根本町特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例

◎川根本町職員の給与に

関する条例

特別給（賞与）の支給月数を引き下げる（0.15月分）。併せて特例措置として、昨年12月支給の特別給においても本年6月支給時に引き下げる旨の改正。

◎川根本町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

特別給の支給月数を下げる改正をする。併せて特例措置は適用しない。

◎川根本町国民健康保険税条例

子育て世帯の経済的負担軽減の観点から未就学児分の均等割を「5割軽減」するなど改正。

◎川根本町福祉センター条例

奥泉区「老人福祉センター憩の家いずみ」を、

本条例から削除するもの。
◎川根本町生きがい対応型デイサービスセンター条例

施設の名称を「憩の家いずみ」に改正し、食事は実費になるため、1食200円を削除する。

◎川根本町接叺峡温泉休憩施設条例

接叺地区集会所の新設に伴い、接叺区の事業での利用を削除し、新たに宿泊に係る利用料金限度額を定めるもの。

◎川根本町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

団員の年額報酬及び出勤手当等が改正され、個人に直接支給される

【町道路線の廃止】
・青部学校線・水川南線（トンネル横）

◎令和3年度一般会計

補正額5700万円を増額し予算総額を60億8010万円とする。

◎増額の内訳
《増》基金積立に1億円。
《減》各種事業費の執行

見込みによる減額が1億5700万円。

◎国民健康保険特別会計

補正額930万円を追加し予算総額8億8230万円とする。

◎簡易水道事業特別会計

補正額110万2千円を追加し、予算総額2億8797万円とする。

◎いやしの里診療所事業

450万円を減額し、予算総額を6020万円とする。

・医師減による（10月）

【発議】
◎ロシア連邦のウクライナへの軍事進攻を非難する決議を川根本町議会として、内閣総理大臣他あてに提出した。

◎川根本町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正し、町職員と同様、減額する。

※令和4年度予算は4.5ページをご覧ください。

【条例制定】

◎川根本町地区集会所条例の制定について

第一常任委員会審査報告 委員長 澤西省司

《目的》地域住民の連帯意識を高め、活動の拠点となる施設を町が地区集会所として設置する。

◎川根本町地区集会所負担金徴収条例の制定について

《目的》地区集会所の経費に関し、コミュニティ組織所有の受益者負担との均衡を図るため、必要事項を定める。

《負担金》修繕費150万円以上は、3分の1。10万円以上は、2分の1。消防設備は、3分の1。

◎質疑・答弁

問 所有者が地区の場合の建替えの際の負担は。

答 町による建設の妥当性を判断するという流れ。

問 集会所の建替え時期の基準はあるか。

答 基準はないが長寿命化修繕を行なっていく。
○討論なし○採決・起立全員、原案のとおり可決。

特集

令和4年度一般会計予算を修正可決

小中学校再編に係る予算5億1800万円を全額削除

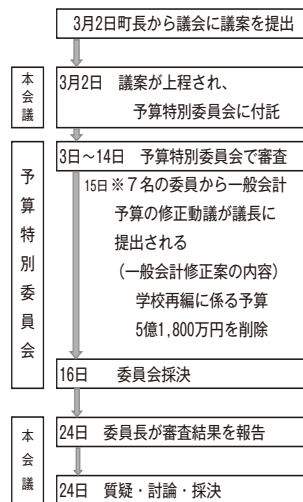
3月定例会賛否が分かれた議案

※議長は採択に加わりません

議案番号	件名	中原	中田	中澤	中野	野口	大竹	石山	澤西	藤田	中野	佐々木
議案第22号	令和4年度川根本町一般会計予算修正案	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	上記修正案を除く部分の原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

他、議案26件、発議2件は全員賛成で可決した。

予算審議の流れ



別表1

●これまでの経過

小中学校再編については、少子化（別表3）による複式学級の増加、各校舎経過年数による老朽化（別表2）から、教育委員会は平成30年から検討してきた。昨年3月議会の令和3年度予算で、議会に正式に学校再編の関連議案として提案され、「義務教育学校施設整備設計費」（仮称・本川根学園2530万円、仮称・中川根学園1023万円）の設計予算案は可決された。

令和4年度一般会計予算は、予算特別委員会に付託され、仮称「本川根

学園」「中川根学園」とする二つの9年制義務教育学校を立ち上げる方向で、令和5年「本川根学園」をスタートする計画の下、令和4年度予算で本小の敷地に新技術棟その他を含む建設・改修工事費約3億円、中中と中央小の渡り廊下その他を含む建設・改修工事費約1億7千万円の予算が提案された。この件で委員会審査は8日、10日、更に14日に、延べ10時間以上の慎重な審議を行い、16日この建設関連予算5億1800万円を削除する議員発議による修正予算案を賛成多数で可決した。（P8「修正案提出理由書」参照）

3月24日の本会議において、委員長より予算審議結果が報告され、質疑・討論の後、採決され賛成多数（別表1）で可決決定された。

●予算委員会での

質疑応答（抜粋）

- 質問** 児童生徒数から見て施設改修にこれほど高額予算が必要か。現施設を利用できないのか。
- 答** 検討したが対応できないと判断した。
- 質問** 説明が不十分である。各予算はいくらか。
- 答** 本川根学園（仮称）が約3億円、中川根学園（仮称）が約1億7千万円である。
- 質問** 小中学校をそのまま使用すれば、渡り廊下は不要ではないか。
- 答** 義務教育学校として一本化したからである。
- 質問** 本小で新築するといふ技術棟に、多目的コーナーがなぜ必要か。
- 答** 様々な活用を考えている。
- 質問** 中中の技術室と比べ、本中の生徒数を見て、この規模のものが必要か。
- 答** 木工室と、金工室が一本化となる。
- 質問** 校舎も老朽化する中、もっと簡易な建物にできないか。
- 答** その発想に至らなかった。
- 質問** 町の財政状況も考慮したか。
- 答** 検討し最も安価な物とした。
- 質問** 本川根学園（仮称）3億、中川根学園（仮称）1億7千万の内訳は、
- 答** これ以上は明らかにできない。
- 質問** 教育委員会では、この件で何の意見も出なかったのか。
- 答** 説明し、了承された。
- 本会議での
- 質疑応答（要旨抜粋）**
- 質問** 修正案は連名だが、議員7人同じ理由・思いで出したのか。今後町民への説明でもそれ以外の理由で説明しないか。
- 答** 意見は様々あったが、同じ理由・思いで提案したと承知している。意見を共有し、理解し、賛同しているということである。（澤西委員長）

3月16日、予算特別委員会に提出された 「修正案提出理由書」(原文)。中野浩和議員により、修正案の趣旨説明が行われた。

修正案提出理由書

議案第22号 令和4年度 川根本町一般会計予算に対する修正案を提出します。

予算修正案の内容は、教育総務費における学校再編に伴う施設改修事業費等の総額518,000千円です。

現在の小学校・中学校を統廃合し義務教育学校を、南部地区、北部地区に各1校の設立を目的に、中央小学校と中川根中学校、並びに本川根小学校の改修工事費等を計上しております。

予算は、地方債(合併債)467,700千円・地域振興基金繰入金48,700千円、一般財源1,600千円の計上です。

日本全体の問題として、人口減少が取り上げられている中で、当町の小中学校生が、ここ2~3年で5倍6倍と増えてくることは到底考えられません。

また、当町が、町外の方から、かなりの魅力ある町であると評価されない限り、著しい増加は考えられません。現状を考えれば、2校でスタートしても、近い将来には、2校を1校に統合しなければならぬことが現実ではないでしょうか。

改修予定の中川根中学校は建築後約34年経過、同様に、中央小学校41年経過 本川根小学校46年経過しており老朽化が進んでおり、今回の改修箇所が工事の再対象になることも考えられます。

以上のような観点等から、施設の改修は再考する必要がある、あると考えられます。

財源は、無限大にあるわけではありません。色々な事業で、如何に節約しながらその事業を成功させていくかが、大切な事と考えます。あまりにも多額な予算であり、原案を再度見直すべきと考え、予算の修正案を提出いたします。

また、当町には改修あるいは取壊すべき資産も沢山あり、財政悪化に陥らないよう考えなければなりません。

合併特例債と言えども、借金ということを忘れないでください。借金が増えれば増えるほど福祉にも影響が出てくることになりかねません。

以上が、予算修正案の提出理由です。

ご審議のほどよろしく願いたします。

校舎建設・経過年数 (令和4年4月現在)

学校	中川根中	本川根中	南部小	中央小	第一小	本小
建設年月	S59.7	S45.3	S51.3	S52.3	S47.3	S47.3
経過年数	37	52	45	45	50	50

別表2

町内小学1年生数(予定)(令和4年4月現在)

年度	令和4	5	6	7	8	9	10
南部	5	7	4	4	8	2	0
中央	5	7	5	6	3	2	3
第一	5	5	2	1	7	1	4
本小	8	6	4	5	5	4	7
1年生合計数	23	25	15	16	23	9	14

別表3

“予算審査で検討された建設工事の内容”



イメージ

本川根小学校庭に建設提案の技術室棟完成予想図(ものづくり棟)



イメージ

中中と中央小をつなぐ渡り廊下建設提案の完成予想図

本会議での討論

修正案に反対の意見

(そのまま予算を通すべきという考え方)

中野暉議員 義務教育学校については、教育委員会、生徒も期待し、議会の同意も得ている。学校関係は時間をかけ準備してきた。今回のことは、

生徒達は落胆するでしょう。議員は何を考えているのか、議員として非常に残念です。高速ブロードバンドが整備され、他校の注目を受けている。更に義務教育学校により模範となる事は予想される。それを足踏みさせる事は、教育界に大きな波紋を残すことになるでしょう。生徒の事を一番に考えて頂きたい。

中田隆幸議員 元の予算

案に賛成。平成27年、7年前から始まった事で、新人議員からこういう修正案が出たのは、子供にかわいそう。川根本町教育委員会では、「子は町の宝、教員は町の財産」とうたっている。今年度と来年度から第一小も南部小も複式になる。これが義務教育学校になると、中学校教師と、2名で専門の授業ができる。複式でも二人の先生が入る。

定住目的の若い方、近くに住み移った方のためにも学校教育をよくする。補正予算か何かで、また出していただきたい。

佐々木直也議員 元の予算案に賛成。徳山での説明会は補足説明会で、賛成反対は無かった。住民理解とは別である。校舎新築には15億程掛かる。また、7割戻ってくる合併特例債が使えない。これは、今使わないと使え

なくなり、負担が増える。教育長・町長が確信的にこれでいい、やっていくと力強く言っている事で、技術棟の必要性も納得した。反対理由が無いので賛成。今まで教育委員会が、積み上げてきた案に納得で、先生方にお任せしますという気持ちである。

修正案に賛成の意見

(そのまま予算を通すべきではないという考え方)

石山貴美夫議員 「同意を得た事」というが、議会の学校関連採決は、令和3年度予算の「設計費約3843万円」のみで、「決まった事」のような曖昧な表現は町民に誤っ

た認識を抱かせ、議会の信頼性に重大な疑義を抱かせる。(教育委員会が、老朽化が顕著と指摘の校舎本体よりも、技術室等付属施設の新築が主になっている。)また、2校案では出生数から二つに分け男女を見ると問題が残る。中学教師が小学生の授業もできると言うのが免許制で簡単ではない。子供の個人差や、いじめ

等の弊害も予想される。

大竹勝子議員 去る13日第一小学区では、学校再編について説明会があり、多くの質疑・意見・要望が相次ぎ出された状況を見るに、到底町民の大多数の合意が得られているとは認められない。また、教育委員会説明の当初の計画よりなぜか前倒しされているように見える。拙速に進めると必ず禍根

を残す事になると懸念する。今回の修正案で、一旦立ち止まり町民の合意と納得が得られるか、判断すべきと考える。

中原緑議員 保護者・地域の方の賛同を得ているというが、疑問である。アンケートは説明会参加者が、説明の内容を理解したかを聞いていて、2校か1校か等具体的な統廃合については、明確に

聞いていないので、保護者の真意は判断できない。また過去に、議員から提言した住民アンケートは一度もされていない。令和9年、5年後の町内の1年生は9人が予測され、著しい増加は見込めない事から一度立ち止まるべきと考える。



おお たけ かつ こ
大竹 勝子 議員

質問 保健医療体制の拡充について

答え 町の地域医療の方向性を導き検討協議する

質問：いやしの里診療所は、町立診療所の位置づけになっているが、常駐医師が一名になったままである。町立町営と位置付けるにふさわしい診療所にする為に民間医師との連携を構築し、保健医療体制の拡充を図る考えはないか。安心安全を第一にした魅力ある町づく

りは、人口減少を食い止める最優先課題である。

町長：保健医療は町民の健康を守る基礎的資源であり、町民の安全・安心に直結したものである。先生方との意見交流を重ね、町・地域医療の方向性を導いて、公立公営診療所の役割を含めて検討協議している。

質問：大災害の可能性もあり、町内でも人工透析を受けられないか。

健康福祉課長：かつて町内の医療機関で、検討した経緯があり、対応は難しいとの方向性が示された。島田総合医療センターで人工透析センターを増設した。そちらで対応したい。

質問 クーポン券で赤ちゃん訪問育児ヘルパーを

答え マンパワーをどう増やすか検討していく

質問：新年度予算に300万円の新生子育て支援事業が計上され、二歳児までは1年間で、一人6万円のクーポン券が贈呈される。子育てに関する商品を町内の事業者が取り扱い、町内の経済活動を活性化するのも目的だが、年齢を就学前までに引き上げ、島田市などで行っ

ている赤ちゃん訪問育児ヘルパー事業を立ち上げ、クーポン券を利用できないか。

町長：就業形態や世帯構成の変化から家庭、親戚、友人知人だけでなく地域で支援していくことが、求められている。マンパワーが大事で、クーポンの使い道、方法が変わっ

てくると思う。他市町の制度も参考にしていく。

健康福祉課長：当事業の主目的は子育てを支援すること、クーポン券を用いて地域経済に寄与する事は従目的である。マンパワーをどう増やすかも含めて検討していく。



さ さ き なお や
佐々木直也 議員



寄附者

「あなた」と「ふるさと」をつなぐ
ふるさと納税

寄附



応援したい地域

メリットの多いふるさと納税

質問

カーボンニュートラルに向けての町の姿勢は

答え

適切な森林整備の推進により寄与する

質問：当町は森林面積が約94%、そのうち国有林が28・6%であり、国の方針であるカーボンニュートラルに向けての役割を積極的に担うべきと考えるが町の考えは。

町長：間伐を中心とした適切な森林整備の推進により、実現に寄与したい。質問：コロナ禍やキャン

プームの影響で全国的に山林を買い求める傾向が強くなってきていると聞くが、山林売上の窓口やウェブサイトを設置する考えはないか。

町長：今のところ検討はしていないが、山林に関する諸課題には山林売上のマッチングも一つの手段であると思う。まずは

全国の事例・動向、課題等の情報収集・整理を進めていく。

質問：業界を問わず、SDGs^{*}やカーボンニュートラルなどを意識することはかっこいいという風潮があるので、大きい話をあえてするという打ち出し方、発信の仕方は一つかなと思う。

質問

今後のふるさと納税の考えは

答え

川根本町ならではの商品づくりに取り組む

質問：ふるさと納税の返礼品の8割がお茶のこのだが、今後どういったものを増やしたいか。

町長：一つの商品だけでなく、コラボやセット商品など、組合せによる新商品の開拓が今後の展開のポイントである。関係機関への働きかけとともに連携し、川根本町なら

ではの商品づくりに取り組んでいく。

質問：他市町村では「空き家管理サービス」を返礼品登録している例がある。実施希望団体がある場合の行政のサポートは。

企画課長：情報提供やふるさと納税に係る手続き、様々な問題点の洗い出しや、サービス提供に向け

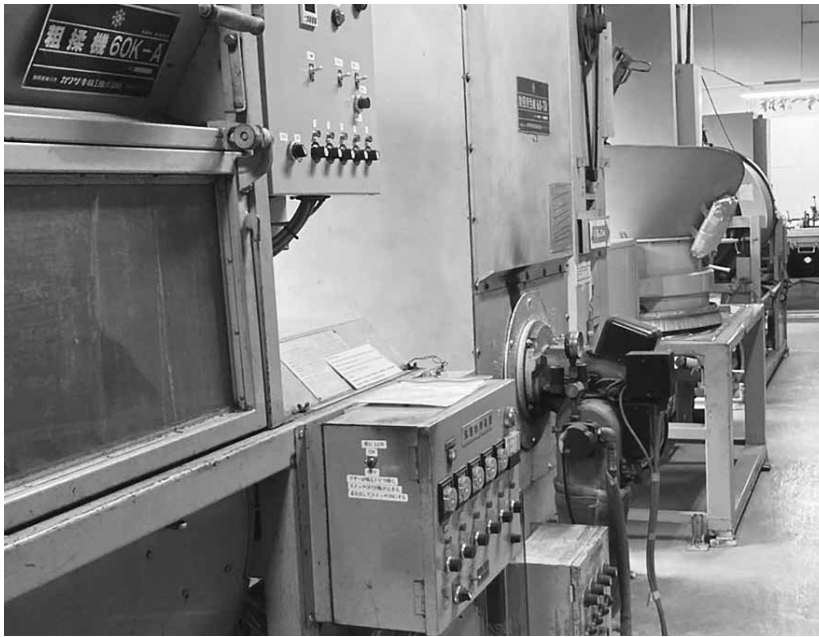
てのサポートは可能である。

質問：山林の管理も返礼品になると考えるが。

町長：組合長に伝える。質問：町のマイナスだと思われている要素というのが、素晴らしいことだったり欲しいものだったりする。今後そういった発想で質問させて頂く。

※掲載記事は発言議員の寄稿によるものです。

※SDGs 持続可能な開発目標



機械の故障にも、補助できれば…



いしやまきみお
石山貴美夫 議員

質問

もう一軒も減らさない覚悟の茶業振興策を伺う

答え

私自身が、寄り添う事とお伝えしたい

質問：厳しい茶の状況の中、担い手育成・6次産業化・販売戦略構築等々の総合計画は、5年経過。茶農家・販売業者をもう減らさない覚悟の振興策が必要、どうお考えか。

町長：私自身、農業者に寄り添うこと、これも農業にとって補助金になるという事は伝えたい。

質問：各地で有機茶への取組が始まっている、対応をどう考えるか。また、共同工場の調査結果は。

町長：有機茶は成長戦略と考える。積極的対応で支援していきたい。
農林課長：調査15共同工場の内5工場は、経営困難廃業と回答、耕作放棄地1000畝年10畝増加傾向。

向。担い手不足だ。

質問：経済情勢から燃料・電気等高騰している、機械修理費も廃業のきっかけになるが。また、ネット販売支援は可能か。

農林課長：高騰対策は、国・県に要望する。維持費への補助はできない。ネット販売支援は考えていない。

質問

茶茗館の在り方、今後の活用をどう考えるか

答え

農業農村振興対策委員会で検討していく

質問：建設当初とは変化してきた中、目的趣旨が解りづらく、監査委員からも今後の在り方を問われているが。

農林課長：抜本的改修は難しい。唯一茶室のある道の駅として、川根茶の呈茶を基本に効果的管理をしていきたい。
質問：町内の案内所的機能

能を町内茶業者・観光客からも望まれているが。

農林課長：町内観光資源案内は、観光商工課とも連携し情報発信に努めていく。

質問：「なかかわね」という表現は、合併17年経つ。工夫したらどうか。また、新規事業の取組みは。

農林課長：名称変更は関係機関との調整もあり委員会で検討していきたい。新規川根茶魅力発信拠点整備事業は、茶農家の様々な集客方法を尊重し、推進していく。

他に「茶パウダー島田先生研究成果活用、有機農業助成等13件」質問。



なかざわ そうや
中澤 荘也 議員



相続放棄された土地の現況

質問

財産管理人の選任申立に係る経費等の支援は

答え

個人資産に対する公金投入は想定していない

質問：利害関係人として

町は、財産管理人の選任申立を行う考えはないか。

町長：相続放棄されたとい

え、あくまで個人資産であり、個人で維持管理することが原則であると考える。

質問：相続放棄者が、財産管理人の選任申立を行う場合、申請手続きの支

援や経費軽減の措置を講ずる考えはないか。

税務住民課長：土地・建物は個人資産であり、個人資産の保持に公金を投入することは考えられないが、申請に係る助言等はできる範囲で対応したいと思っている。

質問：相続放棄された土地・建物の維持管理を自

治体が行う場合、費用の一部負担を行う考えはないか。

総務課長：土地・建物の所有者と自治会等の間で維持管理方法を含めて対応等を協議され、解決すべきものと考ええる。土地等の維持管理費については、町として助成する考えはない。

質問

移住定住対策の強化促進に向けた取り組みは

答え

行政の縦割りの枠を超えた組織の編成を行う

質問：移住・定住対策の強化のために立上げようと考えているプロジェクトチームとは。

町長：課の縦割りの枠を超えた対応を行う組織。

質問：SDGsの考え方を取り入れた持続可能な社会の実現、千年も続く「まちづくり」をどのように進めていくか。

町長：まちづくりの施策

を進めていくには、どの業務にもSDGsが掲げる17のゴールに向かっていくものであり、そのことを職員や住民の方が意識して行動することがただ一人残さない持続可能な社会の実現であり、「千年も続くまちづくり」に合致するものと考えている。

質問：農林業における後継者の育成と小規模事業

者の事業承継支援は。町長：農業次世代人材投資資金等の国の補助金を積極的に活用し、都市部等からの新規就農者の確保に努める。町及び商工会では、経営発達支援計画を作成し、後継者問題を抱える小規模事業者に対しての経営改善や事業承継支援を実施している。



創立60周年を迎えた川根高校（本年度入学者32名）



なか はら みどり
中原 緑 議員

質問 持続可能な教育環境の実現を目指してほしい

答え 教育とまちづくりはセット。政治のデザインに

質問：学校再編を進めて、持続可能な教育環境の実現を目指してほしい。未来に羽ばたく子どもたちの教育について伺う。

町長：政治としてのデザインは、教育についても全てまちづくりセット。身の丈に合った財源はわかるが、地方債も今だから使える。

教育長：町教育委員会、総合教育会議で承認された、地域住民が学校運営に参画するコミュニティスクールとしての義務教育学校2校に再編する準備をしている。

質問：学校再編計画について、町民への周知不足はなかったか。
教育長：令和2年度に

小・中学校・保育園の保護者や地域住民への説明を行ったが、説明不足との指摘があり、反省している。町民・保護者への説明は継続していく。

質問：廃校の利活用は、
総務課長：地元（奥泉地区）の意向を尊重し、企業等からの提案等で利活用や解体の判断をする。

質問 川根高校の存続と、支援の継続について

答え 入学者41人未満が続くと分校の可能性大

質問：川根高校の魅力化として、専門性に特化した科の創設について

町長：その話は河原崎県議も議会で一般質問をしている。我々も思いがあるが、そこまで至っていない。議員の皆さんで陳情に行くのも結構。

教育総務課長：高校の対応を含め検討を考える。議員も、高校にいろいろ

必要請や要求をして、対応してほしい。

質問：町が毎年約1億5000万円を予算計上している3カ所の寮運営、公営塾、スクールバスについて現状説明と見通し

教育総務課長：財源の地方創生推進交付金が終了するまでに、寮費の値上げを計画し、経費節減をより一層検討する。

質問：留学生一人当たり3年間で約360万円を町が負担している事を、当人と保護者はご存じか。
教育長：新入生で寮希望者と保護者に説明会と面接で、町の厚い支援について伝えた。
他に「高校生の通学支援」質問。



のぐち なおし
野口 直次 議員



新入団員宣誓

質問 原油・原材料の高騰の中で町の独自支援は

答え 国の様々の支援策、財政支援を活用していく

質問：継続的な経営の安定のためにも、縮小が見られる農産物出荷事業費補助金・茶共済加入補助金においても、見直し拡大等、又収入保険一部負担金助成、茶の複合作物の野菜安定の補助等も町独自の育成支援等検討されているか伺う。

農林課長：農産物出荷事業費補助金は事業開始時より、早期の事業安定化その目的を達成しすでに事業化できていると判断した。茶共済も、目的を達したと判断し廃止したことから再開は考えていない。収入保険一部助成は町としても考えていない。

質問：原油、原材料費等の高騰が懸念される中において、農林業に独自支援の考えがあるのかを伺う。

農林課長：今後においても、国が構築した様々な支援策について、国の財政的支援を活用しながら農林業関係団体と協議の上、施策を実施したいと考えている。

質問 3年度消防団員の町内外勤務の人数の割合は

答え 278名 町外勤務24% 町内68% 自営8%

質問：有事の際の消防団の活躍には頭が下がります。町外勤務の団員、町内勤務団員及び自営業者の割合はどのくらいか。

総務課長：昨年4月1日現在、町外の割合は24%、人数的には68名勤務先が当町内については68%、190名また、自営の消防団員は8%、20名となっている。

質問：夜間・休日における大地震が突発的に発生した場合の職員の招集マニュアル、危機管理はどうなっているのか伺う。

町長：災害対応マニュアル等に基づき対応している。防災訓練や個別の訓練等を通じて、改善する項目等があれば随時更新を行い、職員に周知することに努めている。

他「生徒減少に伴い川根高校の存続について」、「地元企業へのさらなる支援等について」2件

リニア研修

一月二十一日議員研修会が開かれた。

大井川の中上流域に位置する我が町にとって、リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川水量減少問題は重大関心事の一つである。研修を通して問題の現状と本質への認識を高め、今後の課題や将来への影響についての理解を深めるために、研修会を開催した。「県くらし環境局」織部康弘氏の講演は、国を巻き込んだ県とJRR東海の環境影響評価手続に対する経緯と現状、南アルプスの地質構造と工事により懸念される生物多様性への影響、トンネル工事の位置と、導水路トンネル等による水の減少対策等の内容であった。質疑では360万㎡の燕沢への残土処理、藤島沢の重金属問題等活発な意見が交わされ盛況の中終了した。

議員定数等特別委員会

議員定数等特別委員会は、令和4年3月1日区長連絡会役員会と話し合いをもった。区長会からは、議員の活動があまり見えてこないため関心が薄くなっているのではないかと、議会報告会などを行って、町民に対して議員の活動を明らかにしていけば、町民との距離が近づき町民の理解が高まるのではないかと。先の選挙でポスター掲示も行わなかった議員がいたこともあり、要望書の提出に至った。との説明があった。今回の選挙では結果的に町民が議会に対して関心を持つきっかけになったと思う。町民が行政に対して興味を持つことで議員のなり手確保に繋がるかもしれない等貴重な意見を頂いた。委員全員これらの指摘に、議員としての資質の向上、情報発信の重要性を痛感した。

議会のういき

1月	2月	3月
5日 広報委員会	2日 県地方議会議長連絡協議会	22日 町総合計画審議会
7日 広報委員会	4日 林業振興対策協議会	24日 例月出納検査、保育所運営委員会
9日 出初式、成人式	9日 後期高齢者医療広域連合定例会	1日 川根高校卒業式、区長連絡会への議員定数等特別委員
11日 臨時会、議員定数等特別委員会	14日 駿遠学園管理組合議会2月定例会	2日 区長連絡会への議員定数等特別委員
14日 町内新年挨拶	15日 総会・議長会議、国保運営協議会	3、4、7、9、14日 予算特別委員会
20日 広報委員会	18日 定期監査口頭報告	15日 定例会、議運、全協、広報委員会
21日 議運、全協、大井川水量減少問題等に関する研修会	21日 議運、全協、議員定数等特別委員会	16日 奨学生選考委員会
25日 県町村議長会役員会	28日 広報委員会	17日 いやしの里診療所運営委員会
28日 広報委員会		20日 グループホームとくやま開所式
		24日 定例会、議運、全協
		25日 農業者農村振興対策委員会、し尿処理施設運営委員会、町総合計画審議会
		28日 例月出納検査
		30日 全員協議会

編集後記

議員に対する厳しい視線を背後に感じつつ、議員の使命をかみしめる日々。町の様々な課題が見え隠れします。ニュースはロシアのウクライナ侵略で、花の季節も満喫できないまま新茶に突入。どうか今年の川根茶いい年でありませうように。

(石山貴美夫)

6月定例会の日程

6/2日	木	定例会本会議(9時～ 議場) 全員協議会(本会議終了後 大会議室)
10日	金	定例会本会議(9時～ 議場) 全員協議会(本会議終了後 大会議室)
21日	火	定例会本会議(9時～ 議場)

- 議場、大会議室は、役場本庁3階です。
- 日程は変更することもありますので、詳しくは議会事務局(電話56-2229)までお問い合わせください。
- コロナ対策として、議場内の傍聴人数を縮小しておりますので、ご了承願います。